

令和7年12月19日  
環境管理課 ダイヤルイン (087-832-3219(3218))

## 令和6年度ダイオキシン類環境調査結果について ～大気・水質・土壌等、全地点で環境基準に適合～

ダイオキシン類対策特別措置法第27条に基づく大気・水質・土壌等のダイオキシン類環境調査について、この度、令和6年度に香川県が実施した結果をとりまとめたのでお知らせします。  
令和6年度ダイオキシン類環境調査結果では、いずれの地点も環境基準に適合していました。  
なお、高松市の調査結果については、同日、高松市が公表します。

### 1. 調査結果の概要

#### (1) 大気

調査地点のダイオキシン類濃度は、年間平均値が $0.011\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ であり、環境基準(年間平均値 $0.6\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ 以下)に適合していました。

#### (2) 水質（河川・海域）

調査した5地点のダイオキシン類濃度は、河川(3地点)が $0.095\sim0.43\text{pg-TEQ}/\text{L}$ 、海域(2地点)が $0.056$ 及び $0.057\text{pg-TEQ}/\text{L}$ であり、全て環境基準(年間平均値 $1\text{pg-TEQ}/\text{L}$ )に適合していました。

#### (3) 底質（河川）

調査した3地点のダイオキシン類濃度は、 $0.24\sim2.5\text{pg-TEQ}/\text{g}$ の範囲にあり、全て環境基準( $150\text{pg-TEQ}/\text{g}$ )に適合していました。

#### (4) 土壌

調査した2地点のダイオキシン類濃度は、 $0.38$ 及び $0.90\text{pg-TEQ}/\text{g}$ であり、いずれの地点も環境基準( $1,000\text{pg-TEQ}/\text{g}$ )に適合していました。また、汚染の進行の防止等の観点から必要な調査を実施することとなる基準( $250\text{pg-TEQ}/\text{g}$ )も下回っていました。

表1 令和6年度ダイオキシン類環境調査結果の概要

項目	調査地点数	調査頻度	調査結果（年間平均値）			環境基準	
			平均値	最小値～最大値	単位		
大気	1	2回/年	0.011	—	pg-TEQ/m <sup>3</sup>	年間平均値 0.6 pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下	
水質	河川	3	1回/年	0.25	0.095～0.43	pg-TEQ/L	
	海域	2	1回/年	0.057	0.056～0.057		
底質	河川	3	1回/年	1.0	0.24～2.5	pg-TEQ/g	150 pg-TEQ/g 以下
土壤	発生源周辺	2	1回/年	0.64	0.38～0.90	pg-TEQ/g	1,000 pg-TEQ/g 以下

備考1：詳細は、地点別調査結果（資料1）のとおり。

備考2：pg（ピコグラム）は、 $10^{-12} g$ （1兆分の1グラム）である。

備考3：TEQとは、各種ダイオキシン類の毒性の強さを、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDDを基準に換算した濃度である。

## ＜参考＞

表2 県内調査結果と全国調査結果の比較

項目	区分	県内調査結果（令和6年度）			全国調査結果（令和5年度）		
		地点数	平均値	濃度範囲	地点数	平均値	濃度範囲
大気 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )	一般環境	2	0.0095	0.0079～0.011	408	0.012	0.0026～0.13
	発生源周辺	1	0.0073	—	88	0.014	0.0025～0.12
	沿道	1	0.0069	—	25	0.016	0.0041～0.085
水質 (pg-TEQ/L)	河川	16	0.24	0.076～0.61	1,028	0.21	0.0084～2.9
	海域	2	0.057	0.056～0.057	215	0.065	0.0081～0.35
底質 (pg-TEQ/g)	河川	8	0.88	0.24～2.5	838	5.0	0.0092～410
地下水(pg-TEQ/L)		4	0.060	0.058～0.067	456	0.044	0.00052～0.94
土壤 (pg-TEQ/g)	一般環境	4	0.077	0.062～0.098	500	1.7	0～140
	発生源周辺	2	0.64	0.38～0.90	183	5.1	0～120

備考1：県内調査結果とは、高松市、国土交通省四国地方整備局及び香川県で実施したダイオキシン類常時監視の結果である。

備考2：全国調査結果とは、ダイオキシン類常時監視の結果として、都道府県知事等から環境大臣に報告されたダイオキシン類環境調査結果等を取りまとめたものである。

## 地 点 別 調 査 結 果

### 1. 大気調査結果

No.	調査地点名	市町名	調査結果			環境基準
			調査 頻度	年間平均値 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )	測定値 最小～最大 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )	
1	坂出市役所	坂出市	年2回	0.011	0.0088～0.014	年間平均値 0.6 pg-TEQ/m <sup>3</sup> 以下

### 2. 公共用水域 水質調査結果

#### (1) 水質 (河川)

No.	水域名	調査地点名	年間平均値(pg-TEQ/L)	環境基準
1	湊川	湊川橋	0.095	年間平均値 1 pg-TEQ/L 以下
2	青海川	青海橋	0.23	
3	高瀬川	詫間町水道取水口	0.43	
平均			0.25	

#### (2) 水質 (海域)

No.	水域名	調査地点名	年間平均値(pg-TEQ/L)	環境基準
1	東讃水域	T-2	0.057	年間平均値 1 pg-TEQ/L 以下
2	備讃海域	B-1	0.056	
平均			0.057	

### 3. 公共用水域 底質調査結果

#### 底質 (河川)

No.	水域名	調査地点名	測定値(pg-TEQ/g)	環境基準
1	湊川	湊川橋	0.24	150 pg-TEQ/g 以下
2	青海川	青海橋	2.5	
3	高瀬川	詫間町水道取水口	0.31	
平均			1.0	

### 4. 土壤調査結果

No.	調査地点	測定値 (pg-TEQ/g)	環境基準
1	さぬき市小田	0.38	1,000 pg-TEQ/g 以下
2	小豆郡土庄町	0.90	
平均		0.64	